

# 52.5

「男女共同参画社会」とは



## 京都市男女共同参画推進課より

京都市男女共同参画に関するアンケートから

### 「男女共同参画社会」にあなたは何を期待しますか？

京都市では昨年3,000人の市民を対象に男女共同参画に関するアンケートを行いました。「あなたが男女共同参画社会に期待することは何ですか？」という質問をしたところ、グラフからも分かるように、男女ともに「男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる」という回答が最も多く、次に「性別による差別や不利益がなくなる」「自分の能力に見合った仕事をする事ができる」となっています。

京都市では男女共同参画の推進のための様々な取組を行っていますが、その総合的な活動の拠点となるウイングス京都は、この春「男女共同参画センター」として新たに出発いたしました。女性だけでなく男性にも男女共同参画について共に考え活動していただける場として、身近に感じ利用していただける施設となるよう、今後も事業を展開していきます。

### 男女共同参画社会への期待



京都市文化市民局  
共同参画社会推進部男女共同参画推進課  
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る  
Tel.075-222-3091 Fax.075-222-3223  
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/danjo>

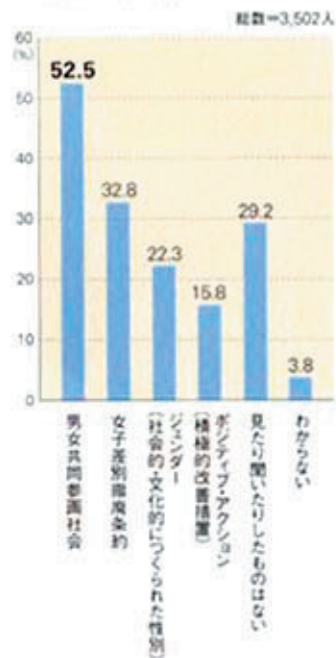
財団法人京都市女性協会 企画・編集  
〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262  
Tel.075-212-7490 Fax.075-212-7460  
<http://wings-kyoto.jp>







「男女共同参画」に関する用語の周知度(複数回答)



内閣府  
「男女共同参画社会に関する世論調査」2004年

## 「男女共同参画社会」とは

「男女共同参画社会」という言葉を  
ご存知ですか？

2004年(平成16年)に国が行った世論調査では「男女共同参画社会」という用語を知っていると答えた人は全体の52.5%、実に二人に一人の割合となっています。それでは、男女共同参画社会とは、実際にどのような社会なのでしょうか。

1999年(平成11年)6月に制定された男女共同参画社会基本法には「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」のことである、とされています。「参画」とは、単なる参加ではなく「より積極的に意思決定過程へ加わる」という意味を表しています。すべての人が「女だから」「男だから」というだけでその可能性を狭められることなく、あらゆる分野への参画と能力発揮の機会が等しく保障されるとともに、「一人ひとりが個人として尊重され、生かされる社会、それが男女共同参画社会なのです。」

毎年6月23日から6月29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。家庭で、地域で、職場で、学校で「女だから」「何かをあきらめたことはいませんか。」「男だから」「無理を続けていませんか。互いの個性を認め合い、生かせる社会を創りあげていくことで、より豊かな人生の選択肢が生まれるのではないのでしょうか。」

この機会に、今まで当たり前と思ってきたことをもう一度見つめなおし、もっと自由に、もっと生き生きと暮らせる社会をみんなで作っていきませんか。